

# 生命保険の見直し

## ～あなたに適した生命保険とは～

### 1. ライフプランと生命保険

～人生にとって生命保険の意義とは～

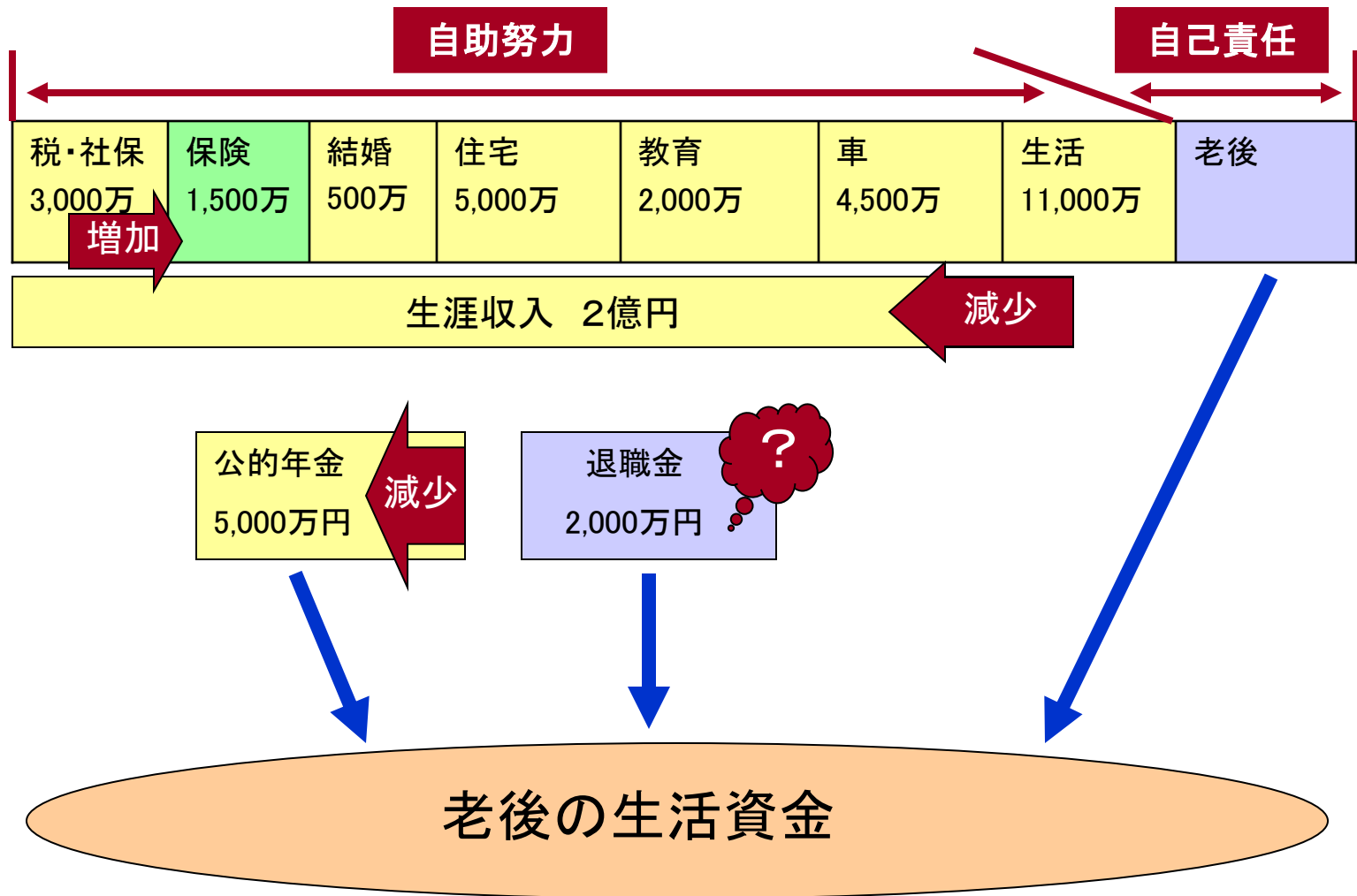
### 2. 生命保険のしくみ

～金融商品としての生命保険とは～

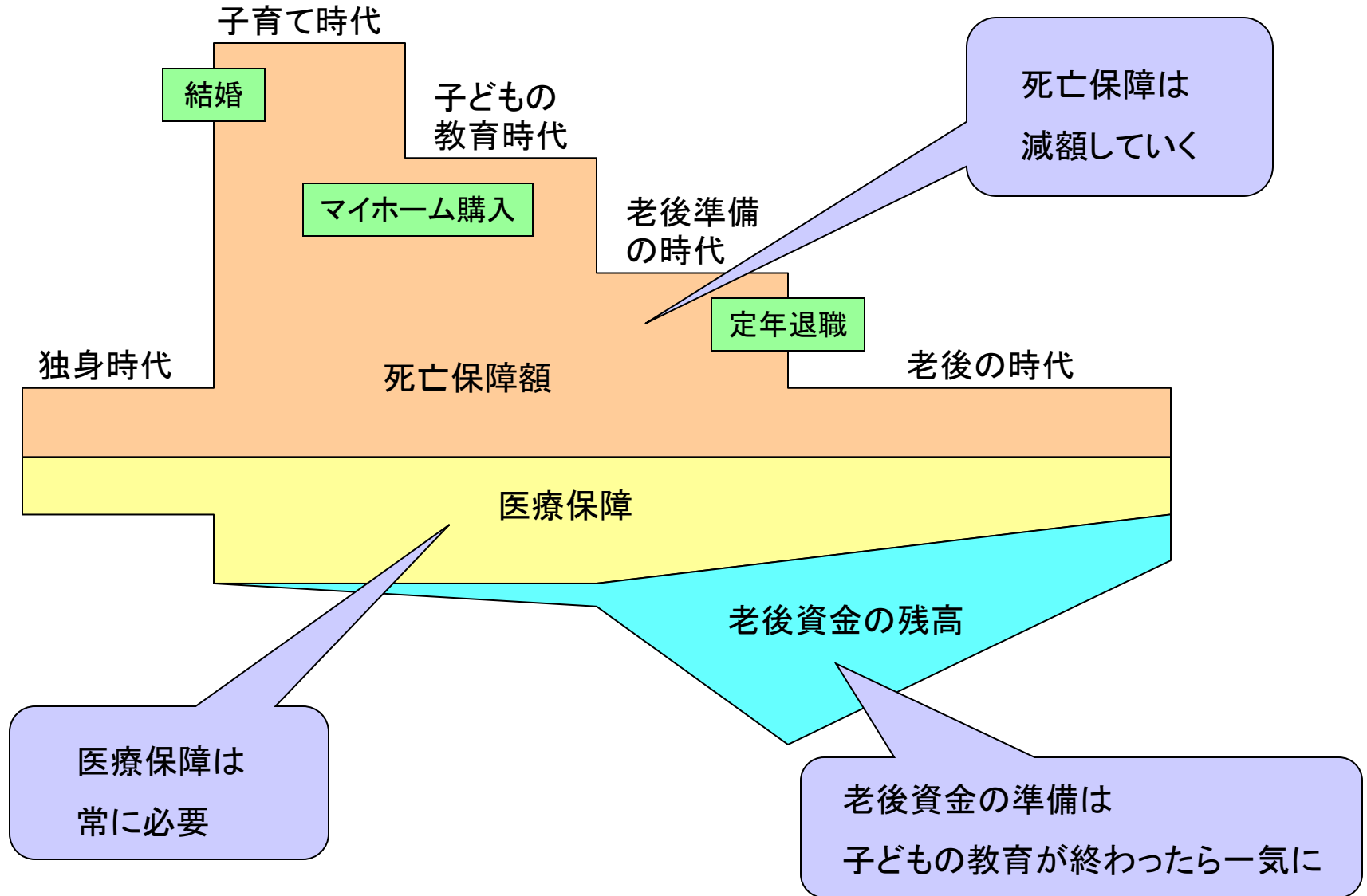
### 3. 生命保険の見直し

～見直し、具体的に何するの～

# ライフプランと生命保険



# ライフステージと保障



# 大きく変わりつつある保険業界

## 【会社・機関】

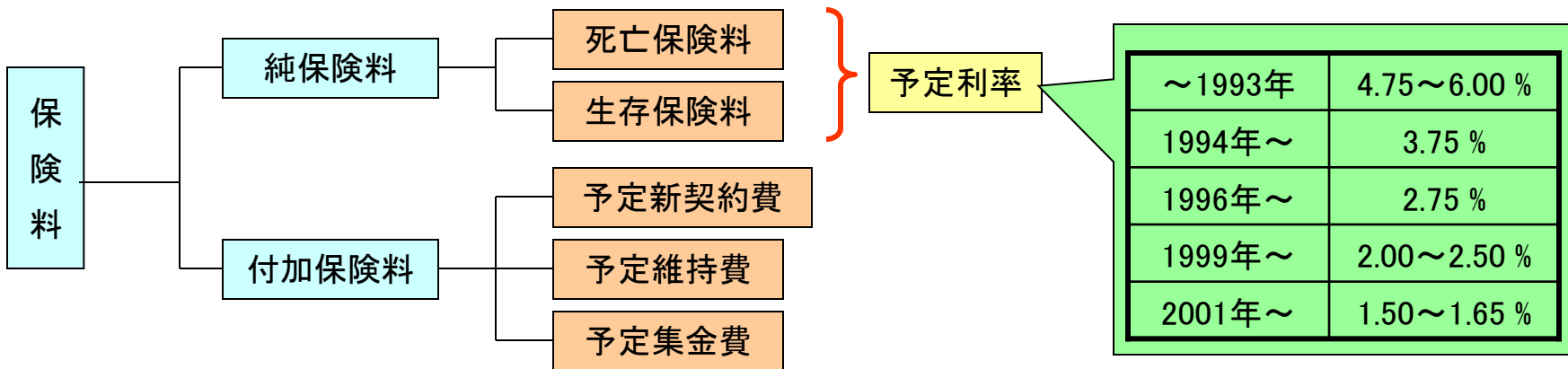
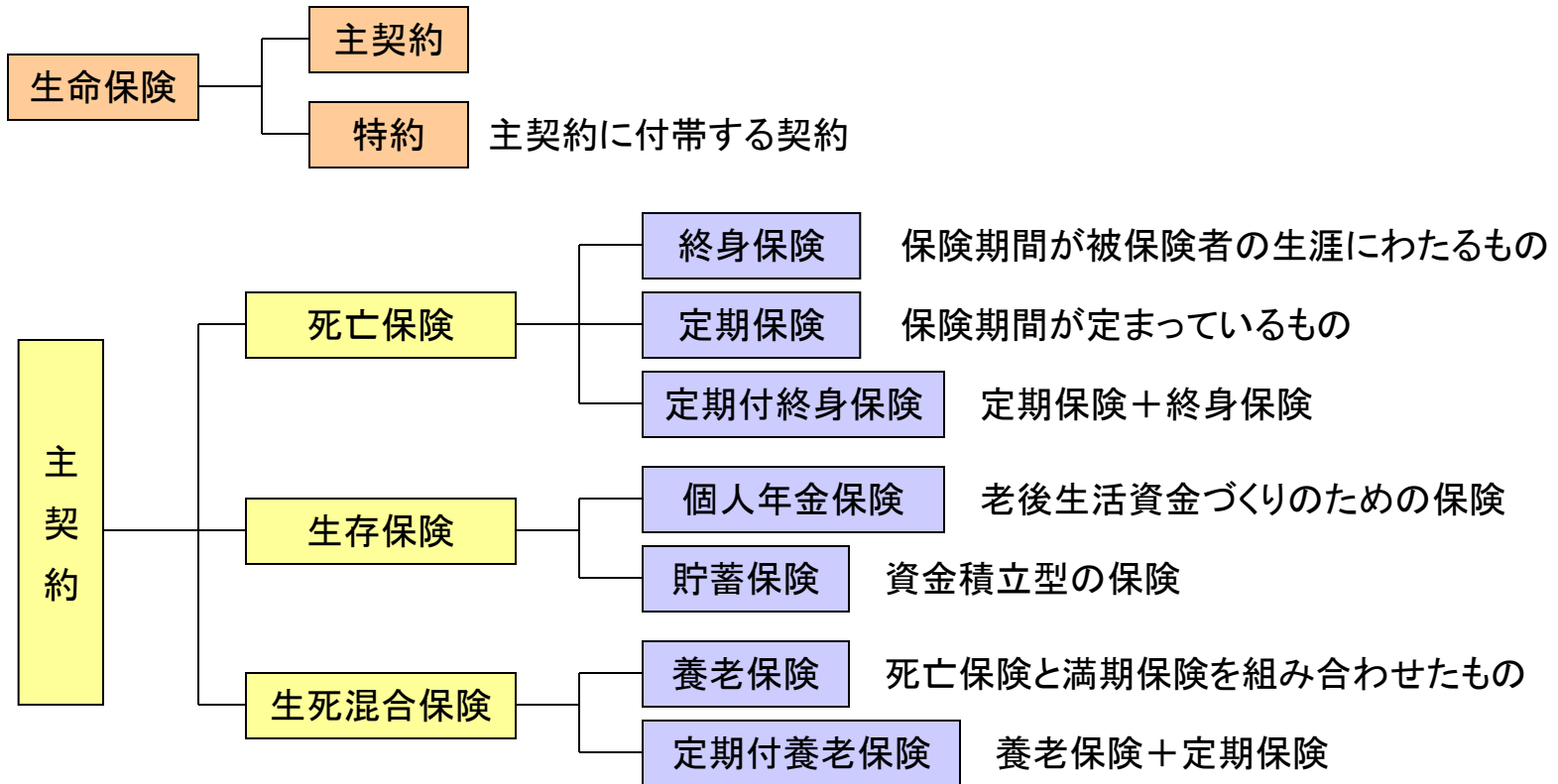
関係官庁	扱い機関	適用法律
金融庁	国内生保、カタカナ生保、損保系生保	保険業法
総務省	郵便局	簡易生命保険法
農林水産省	JA(全共連)	農業共同組合法
厚生労働省	日本生協連、全労災、全国生協連	消費生活共同組合法

## 【格付け】 Standard & Poor's、Moody's Japan K.K、格付投資情報センター(R&I)

符号	保険金支払能力(R&Iの例)
AAA	保険金支払能力は最も高く、多くの優れた要素がある。
AA	保険金支払能力は極めて高く、優れた要素がある。
A	保険金支払能力は高く、部分的に優れた要素がある。
BBB	保険金支払能力は十分であるが、将来環境が大きく変化した場合、注意すべき要素がある
BB	保険金支払能力は当面問題ないが、将来環境が変化した場合、十分注意すべき要素がある
B	保険金支払能力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
CCC	保険金支払不能の可能性が大きく、将来の支払に懸念を抱かせる要素がある。
CC	保険金支払不能の可能性が極めて大きく、将来の支払に強い懸念を抱かせる要素がある。
C	最低位の格付で、保険金支払不能に陥っているか、またはその懸念が極めて強い。

## 【ソルベンシー・マージン比率(支払い余力)】 200%未満で金融庁の早期是正処置

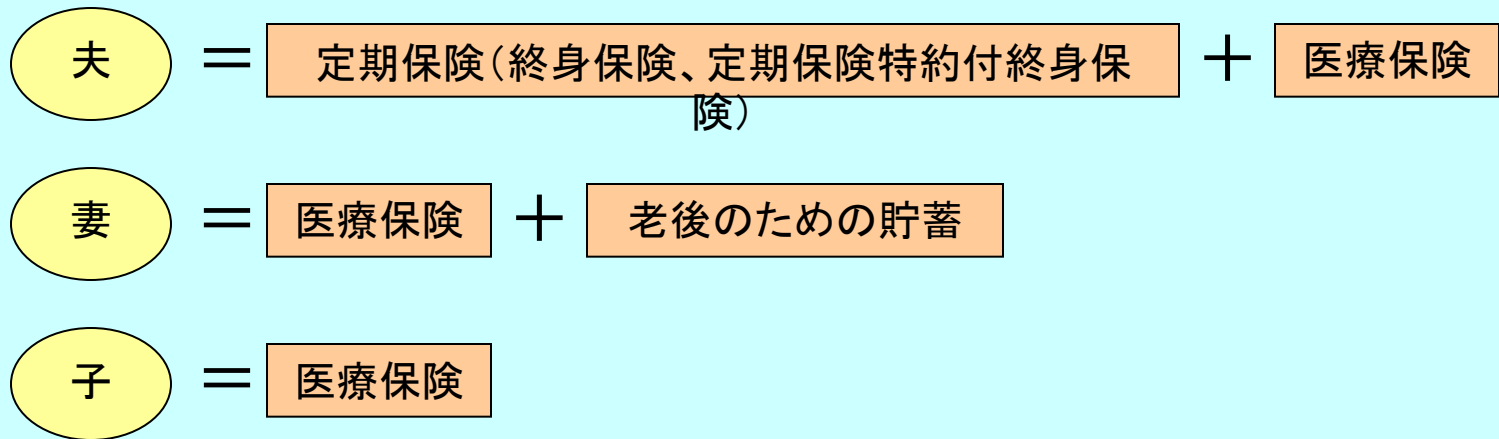
# 生命保険のしくみ



# 生命保険の見直し ～①保険加入の目的の明確化～

加入目的	保障機能	保険種類
死亡保障	被保険者が死亡・高度障害のときに、 保険金が支払われる	定期保険、終身保険、 定期保険特約付終身保険
医療保障	病気やケガで入院・手術のときに、 給付金が支払われる	医療保険、医療特約
老後保障	老後に年金が支払われる	個人年金保険

## 加入例



# 生命保険の見直し ～②必要保障額の計算(支出)～

## 【家族構成】

夫:30歳、サラリーマン  
 妻:28歳、専業主婦  
 長男:4歳  
 長女:2歳

## 【年間収入】(手取り)

夫:500万円(平均標準報酬月額:27万円)

## 【年間支出】

基本生活費:240万円(教育費、住宅ローンは除く)

その他の生活費:60万円(帰省費用、固定資産税、自動車税など)

※マイホームを4年前に購入、住宅ローン2,000万円。返済満了は61歳。

## 夫死亡後の支出

妻の生涯生活費	現在の生活費(年間) (240万+60万)	× 0.5 ×	85歳 - 妻の年齢 (85歳 - 28歳)	8,550万円
末子22歳までの生涯生活費	現在の生活費(年間) (240万+60万)	× 0.2 ×	22歳 - 末子の年齢 (22歳 - 2歳)	1,200万円
子どもの教育費	教育費(生涯) 1,000万	×	子どもの数 2人	2,000万円
子どもの結婚援助	援助金	×	子どもの数	300万円
住宅ローン・家賃	返済額・家賃(年間)			0円
一時的な支出				1,000万円
葬式代・借金				300万円

支出の合計=1億3,350万円

# 生命保険の見直し ～②必要保障額の計算(収入)～

## 【家族構成】

夫:30歳、サラリーマン  
 妻:28歳、専業主婦  
 長男:4歳  
 長女:2歳

## 【年間収入】(手取り)

夫:500万円(平均標準報酬月額:27万円)

## 【年間支出】

基本生活費:240万円(教育費、住宅ローンは除く)

その他の生活費:60万円(帰省費用、固定資産税、自動車税など)

※マイホームを4年前に購入、住宅ローン2,000万円。返済満了は61歳。

## 夫死亡後の収入

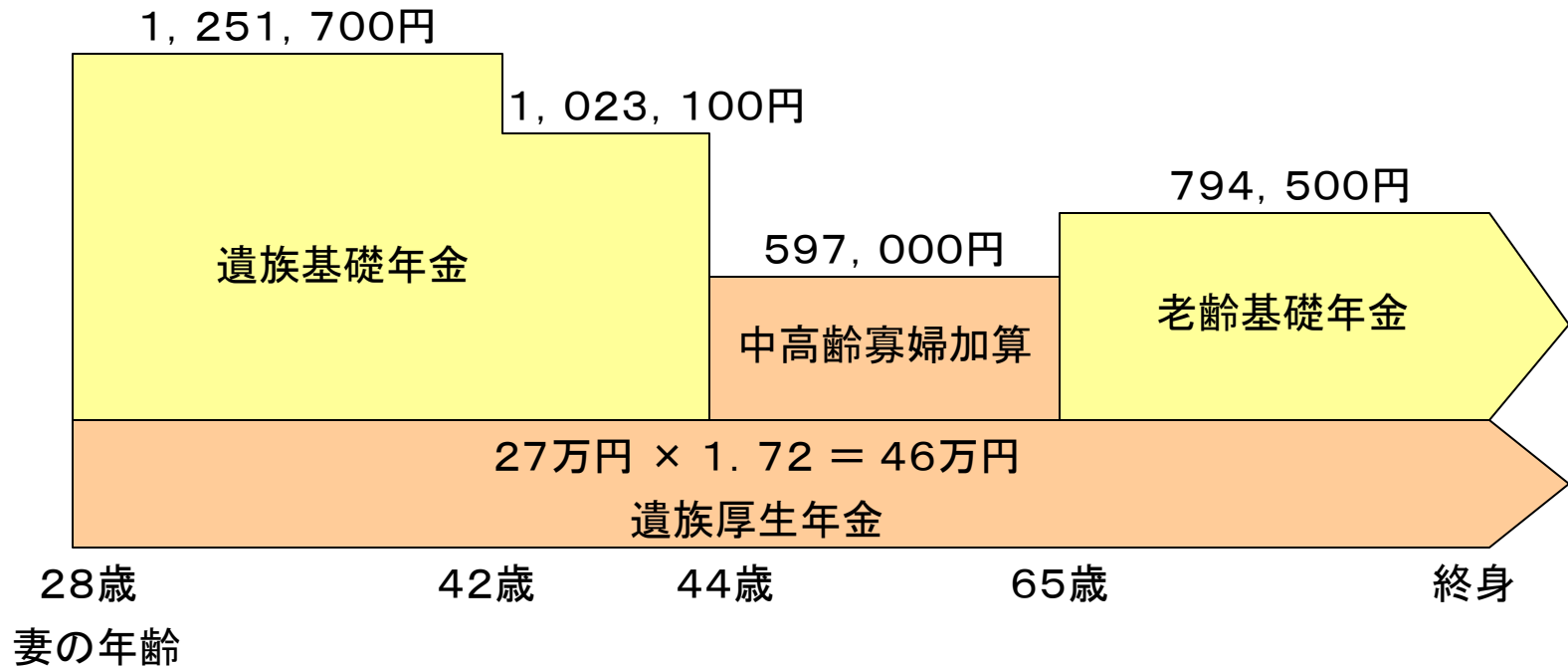
遺族年金	遺族基礎年金 + 遺族厚生年金(+中高齢寡婦加算)	5,833万円
	1,957万 + 3,876万	
妻の老齢年金	予想される年金額 × 受取年数	1,589万円
	794,500 × (85歳 - 28歳)	
妻の収入	予想される収入(年間) × 働ける年数	2,400万円
	180万 × (60歳 - 44歳)	
一時的な収入		300万円
貯蓄・資産		300万円
死亡退職金など		300万円

収入の合計 = 1億722万円

必要保障額 = 1億3,350万円 - 1億722万円 = 2,628万円



# 生命保険の見直し ～②必要保障額の計算(公的年金)～



※妻の死亡年齢は85歳として計算

遺族基礎年金	1,251,700円 × 14年(長男18歳 - 4歳)	1,752万円
	1,023,100円 × 2年(長男と長女の年齢差)	205万円
中高齢寡婦加算	597,000円 × 21年(妻65歳 - 44歳)	1,254万円
遺族厚生年金	46万円 × 57年(妻85歳 - 28歳)	2,622万円
妻の老齢基礎年金	794,500円 × 20年(妻85歳 - 65歳)	1,589万円

**合計 = 7,422万円**

## 生命保険の見直し ～③現在加入している保険の分析～

- 【1】死亡保険金はいくらか？
- 【2】高額保障期間はいつまでか？
- 【3】医療保障はいくらか？
- 【4】特約の保険期間は何年か？（何歳で更新されるか？）
- 【5】保険料はいくらか？

## 生命保険の見直し ～④加入目的との適合性の確認～

- 【1】死亡保険金は適切か？
- 【2】死亡保障期間は適切か？
- 【3】医療保障額は適切か？
- 【4】医療保障期間は適切か？
- 【5】保険料の負担に耐えられるか？

# 生命保険の見直し ～⑤見直し方法の検討と実行～

【1】転換

【2】中途増額・中途減額

【3】組み替え

【4】延長保険と払済保険

【5】疾病特約の見直し

【6】保険料支払方法の見直し